

メータバイパスユニット 3型

コンパクト設計、
樹脂製メータます採用により

軽量化!

運搬・設置が容易



〈呼び径 75〉



メータ検針用小蓋で
検針作業も容易!!

〈呼び径 50・75〉



〈呼び径 25~40〉

〈呼び径 50〉

(公社) 日本水道協会 認証登録品:M-340

特長

- ▶ 不断水で、メータの引き換え作業が行えます。
- ▶ 特別な工具を使用せず、メータの引き換え作業が行えます。
- ▶ 呼び径50・75は、メータ補足管を使用しない構造です。
- ▶ 検針用小蓋の採用(呼び径50・75)により、メータ検針作業が容易に行えます。
- ▶ ユニット設置後、蓋(呼び径25～50)の開閉方向を変更できます。
- ▶ メータますは、樹脂採用により従来品に比べ軽量化を図り、さらに、強度、耐久性に配慮した設計です。

仕様

呼び径	25	30	40	50	75
使用流体	水道水				
最高使用圧力	0.75MPa				
適用メータ	接続形式	上水ねじ又は舶来ねじ ^{※1}			ヴィクトリックフランジメータ
	面間(mm)	225	230	245	245
メータます	蓋、ます本体とも樹脂(メトン)製 但し:呼び径75の蓋は、FCD600製				
両端の接続形式	テーパめねじ			フランジ	
重量(kg)(メータ含まず)	32	37	42	61	172
摘要	平成9年厚生省令第14号の耐圧、浸出性に適合 ^{※2}				

※1 それぞれのねじに対応したタイプとなります。

※2 (公社)日本水道協会 品質認証センター 認証登録品(認証登録番号:M-340)

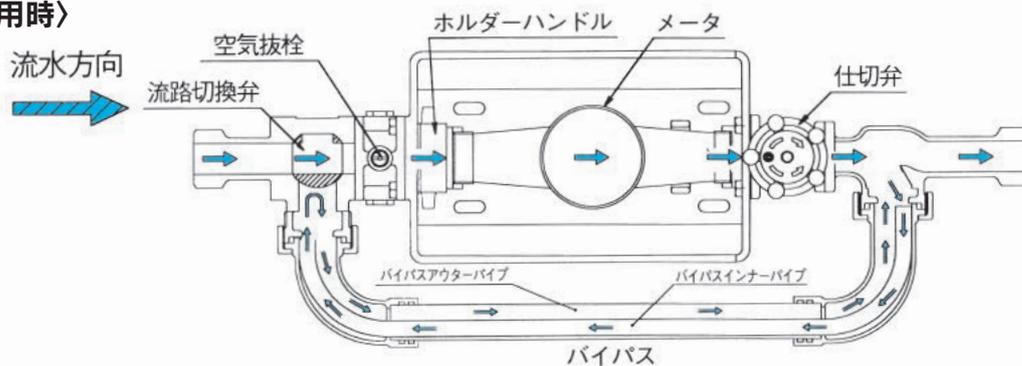
メトンとは

ジシクロペンタジエンを主原料とした、オレフィン系架橋タイプの熱硬化性樹脂で、全体的に物性のバランスに優れた材料で、大型、複雑、肉厚の成形に適した材料です。

また、廃材は、ガラス繊維等も含まず、燃焼時有害物質の発生もほとんどなく、サーマルリサイクル材としても使用され、環境にやさしい材料です。

流水状態

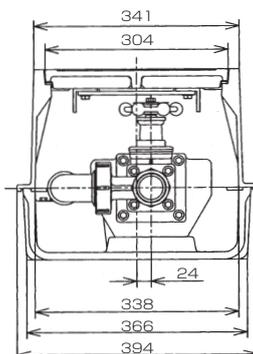
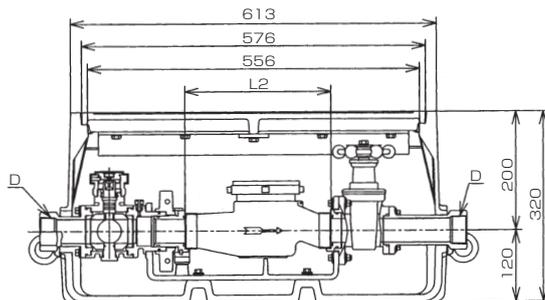
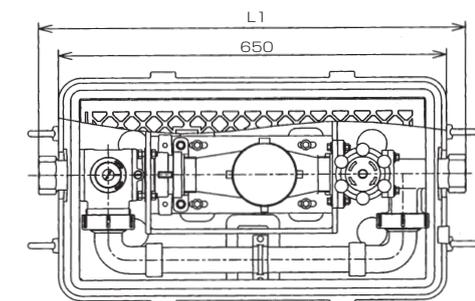
〈通常の使用時〉



※バイパスインナーパイプにより停滞水を防止しています。

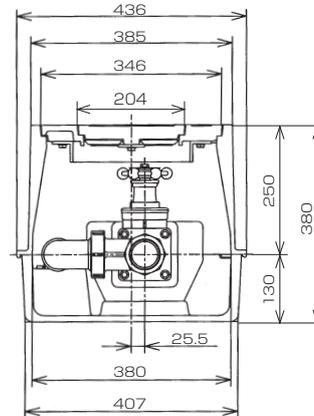
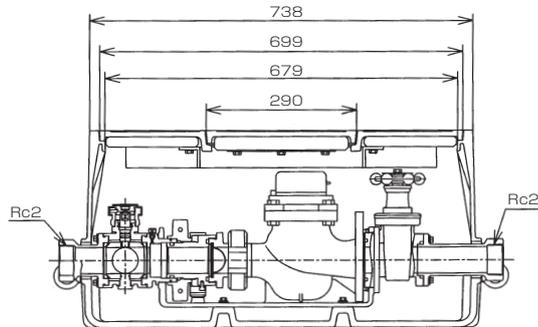
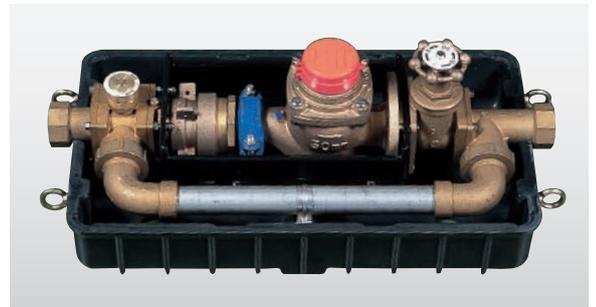
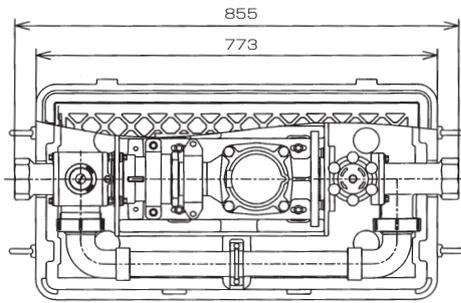
外観・寸法

呼び径
25～40

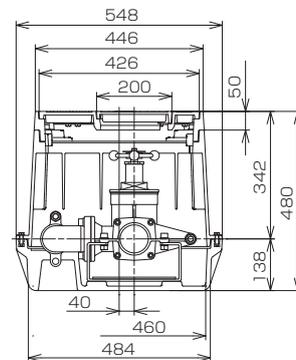
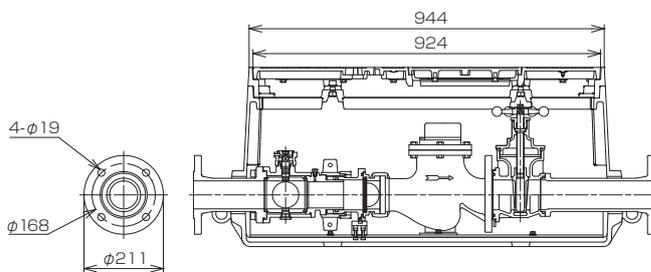
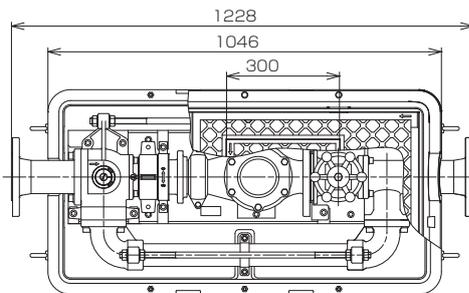


呼び径	D	L1	L2
25	Rc 1	705	225
30	Rc 1¼	715	230
40	Rc 1½	715	245

呼び径
50



呼び径
75



移動

作業現場において、メータバイパスユニットを設置する場合、呼び径50以下では、人力によって移動は可能ですが、呼び径75は、重機等による移動が必要となります。

ただし、呼び径75でも、蓋、上ます、及び下ます付ユニット本体に分解して、移動することも可能です。

⚠ 移動上の注意

- ① 移動する場合は、指や手の甲などを挟まないように、蓋の開口部などを固定するか取り外して作業を行ってください。また、足などに落下しない様に注意してください。
- ② 呼び径75の下ますと上ますは、六角ボルトを外せば分解できますが、組立時は必ず6箇所仮止め後、均等になるように交互に締め付けてください。また締めすぎに注意してください。



メータバイパスユニット(呼び径75)
重量: 172kg



下ます付ユニット本体
重量: 104kg



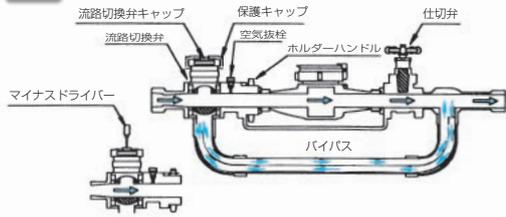
蓋及び上ます
重量: 68kg

移動時、蓋の開口部は、蓋開口部重量: 36kg
固定又は取り外すこと
受枠重量: 21.5kg

メータバイパスユニット 3型

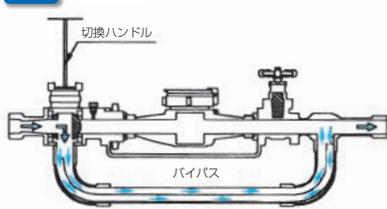
メータの引き換え手順

1



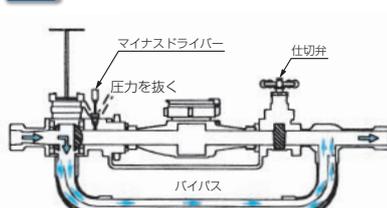
- 流路切換の保護キャップを外し、流路切換弁キャップをマイナスドライバー等で緩め引き抜きます。

2



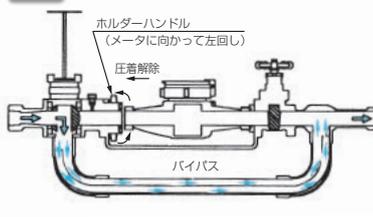
- 切換ハンドルで、バイパス通水にします。

3



- 仕切弁を閉じ、空気抜栓より圧力を抜きます。

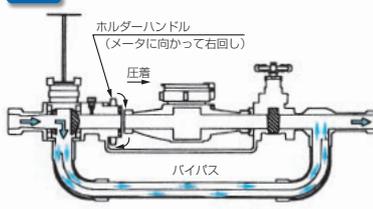
4



- ホルダーハンドルをメータに向かって左に回し、メータをフリーにします。
- メータを取り外します。
- メータ接続部のOリングを新しいものと交換します。
- メータを取り付け位置に合わせて取り付けます。

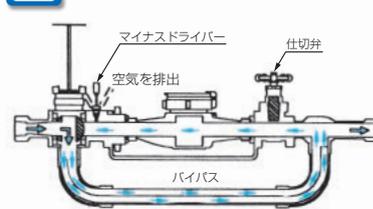
※呼び径50及び75は、別途ヴィクトリック継手の接続作業があります。

5



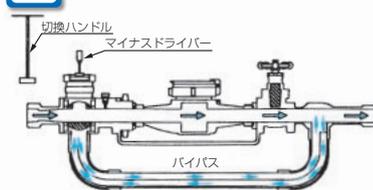
- ホルダーハンドルをメータに向かって右に回し、メータを圧着します。
- 50及び75mmフランジ型は、メータ上流側にヴィクトリック継手と器具、下流側はボルト穴と器具の位置を合わせ確認しながら締め付けます。
- 圧着作業は工具を使用せず、手でいっぱいに行ってください。

6



- 仕切弁を開けた後、空気抜栓より空気を排出します。
- 空気排出後、空気抜栓を閉にします。

7



- 切換ハンドルを操作し、通水にします。
- 切換ハンドルを外します。
- 流路切換弁キャップをセットし、マイナスドライバーで締め付けます。
- 保護キャップを取り付けます。

※本製品は、流路切換弁、仕切弁どちらも開状態で納入いたします。

本製品使用の際には、取扱説明書をよくご覧の上、ご使用ください。



注意

- 設定条件、使用条件をご確認のうえ、用途にあった製品をお選びください。不適切な用途でご使用になりますと、故障や事故の原因になることがあります。
- 当カタログに掲載の形状・寸法等各種データは代表値を示しています。
- 当カタログは、内容の補足・改善・製品の設計変更・製造中止等により、予告なく変更することがあります。
- 当カタログに掲載のメータは、構造、機能の説明をするためのもので製品には含まれません。
- ご使用に当たっての詳細については最寄の営業所へご確認ください。
- 上記の注意事項を守らずにご使用された場合の故障、事故に関しては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

■お問い合わせ・ご用命は、各営業所へ。

 前澤給装工業株式会社

本社 〒152-8510 東京都目黒区鷹番二丁目14番4号 Tel. (03) 3716-1511 (代表)

北海道 (011) 814-1515
釧路 (0154) 25-0311
青森 (017) 773-3158
秋田 (018) 866-3551
仙台 (022) 263-2331
福島 (024) 927-5651
茨城 (029) 824-7581

栃木 (028) 633-8821
群馬 (027) 280-6351
埼玉 (048) 815-7112
千葉 (043) 233-9631
東京 (03) 3711-6331
長野 (0263) 87-5264
東京西 (042) 578-2571

横浜 (045) 323-5671
静岡 (054) 238-2171
新潟 (025) 241-5466
北陸 (076) 240-6510
名古屋 (052) 745-8211
京都 (075) 365-0066
大阪 (06) 4808-4411

岡山 (086) 243-8151
広島 (082) 291-4351
四国 (089) 974-8577
九州 (092) 472-7341
熊本 (096) 386-2377
鹿児島 (099) 257-1770

<http://www.qso.co.jp/>

※本カタログの内容を、無断で複写、複製、転載することは禁じられております。